

〈学習会〉先人たちの遺骨を 故郷の地 平取へ

主催 「平取アイヌ遺骨」を考える会
共同代表 木村 二三夫 (☎・FAX01457-5-555)
井澤 敏郎 (☎090-6693-1184)

協力 平取町教育委員会
コタンの会
北大開示文書研究会

日時 2017年 3月 18日(土曜)
午後5時～7時30分

会場 平取町二風谷生活館
(北海道沙流群平取町二風谷 78-12)

入場 無料 【申し込み不要 直接会場にお越し下さい】

講師

植木 哲也 苫小牧駒澤大学教授
「アイヌの遺骨がこうむった”学問の暴力”」
殿平 善彦 北大開示文書研究会共同代表
「アイヌの遺骨はコタンの土へ」
小田 博志 北海道大学教授
「骨から人へ—尊厳ある遺骨の帰還のために」
市川 守弘 弁護士
「地元の土に遺骨を戻すには」

開催の趣旨

北海道大学など全国12大学と、10を超える博物館施設に、大量のアイヌ遺骨と副葬品(故人とともに収められていた品々)が保管されています。明治～昭和期研究者たちが各地のアイヌ墓地を掘って集めるなどしたものです。記録によれば、平取町内から少なくとも27人分の遺骨が持ち出されています。なぜこんな事件が起きたのか。どうすれば元どおりにできるのか—?